

八千代の遺跡

—千葉県八千代市埋蔵文化財包蔵地所在調査報告書—

1983.3

2. 埋蔵文化財包蔵地名表（遺跡名）

(1) 凡 例

1. 遺跡番号は八千代市の北部から大字ごとに通し番号を付した。
2. 遺跡名は原則として所在地の小字名を用いたが、学史的・地域にあっては著名な遺跡については、既名の遺跡名を用いたものもある。同一字内に数遺跡が所在する場合は東西南北を付すことによって区分し、またいくつかの小字にわたるときは中心になる字名を用いた。
なお、小字については八千代市役所「八千代都市計画区域図」（固定資産税課所管・昭和49年9月編集）の字名を使用した。
3. 所在地は「八千代市地籍図」を参照し、個々の遺跡の中心となる地番を示すことを原則とした。
4. 立地については、10m以下の低台地、20m前後の台地、沖積地として区分した。
5. 種別は、遺跡の形状などを示した。
6. 国・県台帳番号の記号については、文Noは「全国遺跡地図：千葉県」（文化庁1971）、県Noは「千葉県記念物所在地図」（千葉県教育委員会1970）であり、番号はそれぞれの遺跡番号を示す。
7. 資料欄は先（先土器時代）、縄（縄文時代）、弥（弥生時代）、古（古墳時代）、歴（歴史時代）であり、中は中・近世を示す。
8. 図版番号は「3. 埋蔵文化財分布地図」の図版番号を示す。
9. 保存状態は現地踏査時の報告により、現存、一部消滅・湮滅の3段階に分類した。
10. 備考欄には、別称など他の項目に該当しないものを記した。



包蔵地



貝塚



古墳群



塚群



城館跡



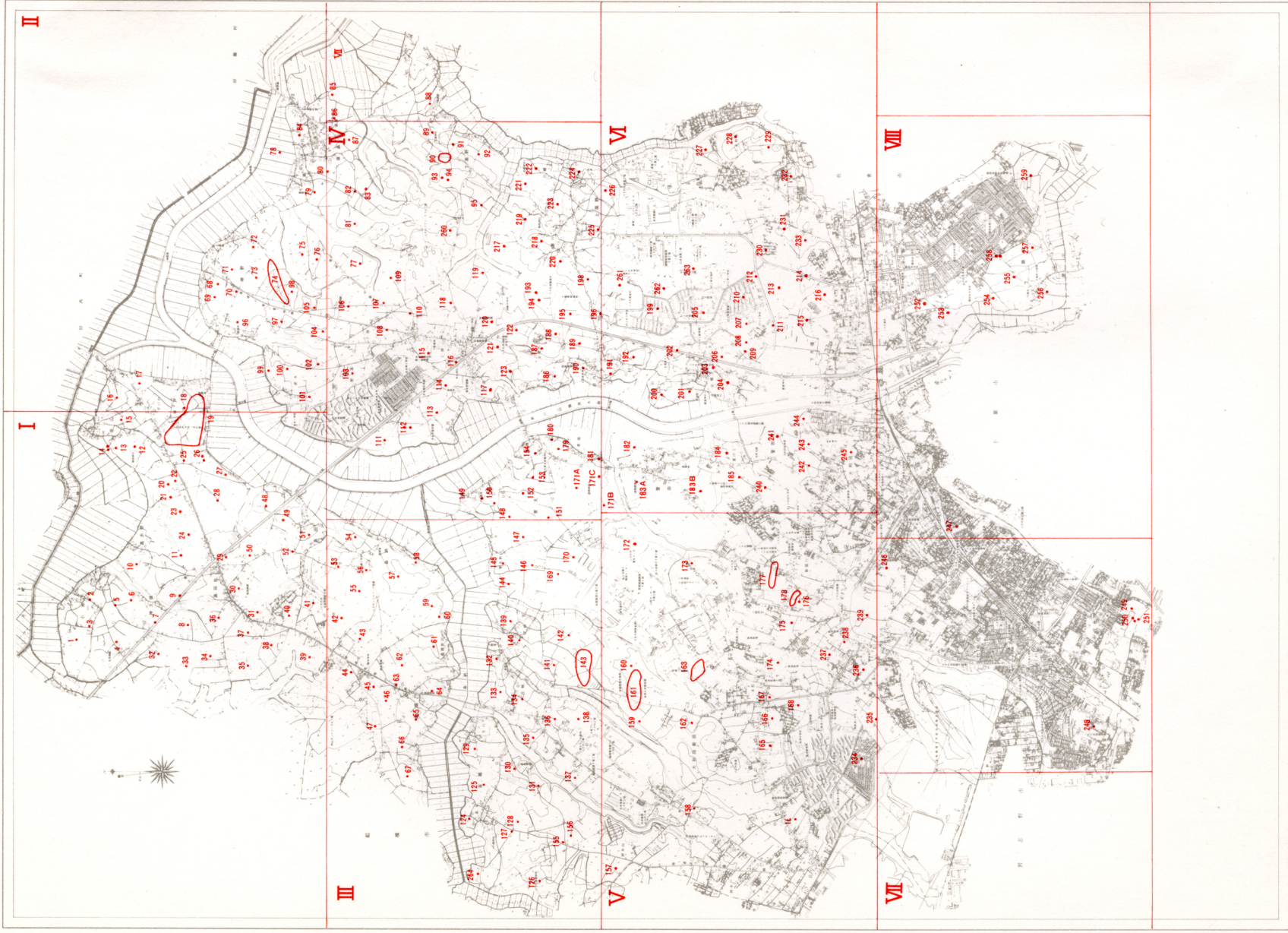
前方後円墳

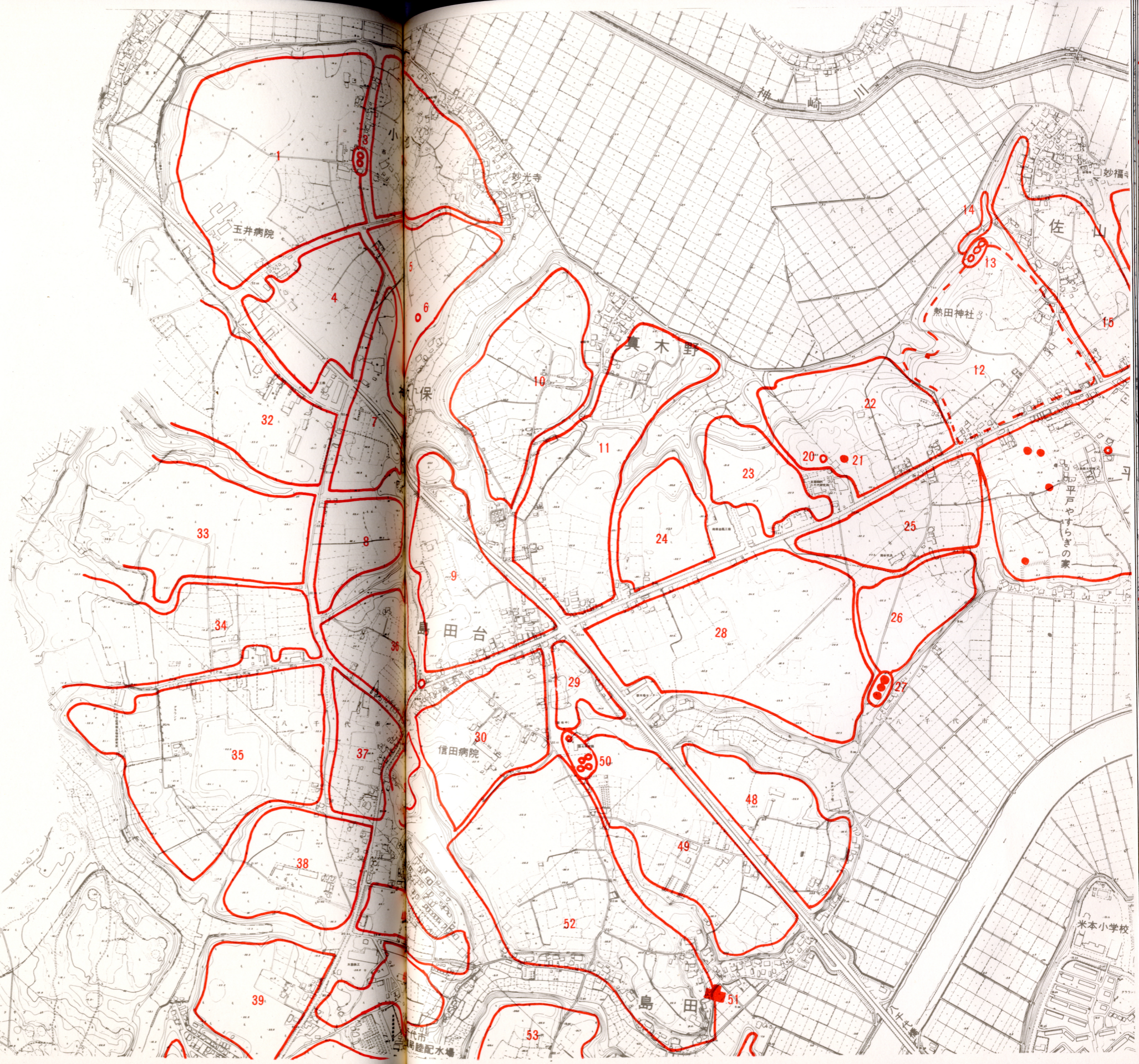
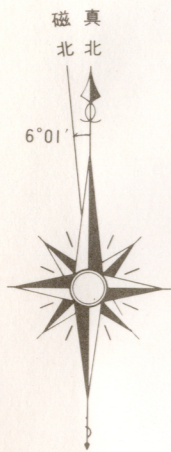


円墳



塚





船

橋

市

